

「IT革命を推進する為の電気通信事案における野村のあり方」 規正

## 7. 「利用者利益の確保方策」

意見申出制度そのものは、よろしいのですが、どの程度、利用者の意見を反映して下さるのでょうか。

一般論ですが、日本の通信事業者が提示している通話料金が高いと思います。東京～神奈川間で60K以内ですと、20分ぐらいの話をしますと、300円かかります。そんな程度で300円も請求されてくる実態があります。最近では、NTTコネクティビティが2月まで指定ができて、テレフォンスという割引商品ができて、1ヵ月200円の年費料を払えば、30%引きの商品ができてきました。都内へ300円だったものが210円まで引き下げが可能ですが、2月限定です。料金体系を見直して頂きたいと思えます。県内の電話料金も高いと思います。NTTでは、本年10月1日には、県内の通話料の引き下げを執行するようです。先を記事を読みました。今までの通話料が高すぎたのではありませんか、自由競争の環境下になり、ようやく改善がみられるように思えます。県内、県外の通話料金そのものが、高いと思います。一例ですが、神奈川～仙台ですと、夜間に掛けても、3分で300円です。20分前後ですと、560円です。これまでは、利用者が料金について、意見を申し上げてこなかったように思えます。しかし、NTTを始めて、日本テレコム等は、あぐらをかくような時代では無いと思えます。利用者の利益というものを考えて、対処をすることは

大切なことだと思います。更に提案もさせて頂ければ、通話料金の  
在り方について、論点として、上げて頂きたいと思ひます。  
欧米に比べても、日本の通話料金は高いと思ひます。  
自由競争の恩恵を消費者に回して下さい。  
先ず国の政策を願ひたいものです。  
このように意見が出てますとのことで、上げておいて下さい。

平成12年8月31日

〒243-0307 神奈川県愛甲郡愛川町半原336-5  
野矢多喜子 TEL. FAX 046-281-4128